
無敵村長

算裏 友城

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無敵村長

【Nコード】

N4335BA

【作者名】

算裏 友城

【あらすじ】

その村は山奥にあった。平和だったが、何故か現在進行形でモンスター襲撃をうけていた。なすすべなく食い尽くされる食物、蹂躪される人々……だが村長の命が危機に晒されたとき、男は現れた。彼は問う、“村長よ、村の救世主とならないか”と。

無敵シリーズ、第五弾、無敵村長開幕！

第一節 無敵村長 VS 悪いオーク達

「グヒャアアアア クイモノダアア！」

「サケモ アルゾー！」

「グヒャア コイツハサイコーダ」

「ああ……私達の食料が……」

「ソンチヨウサンヨ コノムラハ イイトコダナア！」

「クイモノモ タップリアルシナア！」

「止めて下され、あれは我々が身を粉にして作った作物で……」

「ウルセエ ジジイ！」

バキッ！

「ああっ!？」

「グヒャアア ナマイキナジジイダゼ イッソ ミセシメニ
コロスカ？」

「お、お願いです、私の命なら差し上げますから、その代わりこれ
以上は村の人達に危害を加えないで下さい！」

「ヤアダネ アバヨジジイッ！」

手斧が村長の頭部目掛け振り下ろされる。ビュッ、と果実を叩き割るかの如く。が、それが彼の、村長の頭に届く事はなかった。

グシャッ！

「プギヤアアアアア！？」

オークにしようりした

「ナ、ナンダテメエハ！」

その声に、村長は恐る恐る顔をあげた。

きんにくりゆうりゆうのおとこが あらわれた

“……………”

「コノ ナメヤガッテ！ シネエエ！」

グシャア！！

「プギヤアアアアアアアア！？」

オークにしようりした

「ぜ、ゼンインデカカレー！」

グシャ グシャ グシャ グシャ グシャ グシャ

「「「「「ギイイイイイイイイ！？」」「」「」」

オークのしゅうだんに しょうりした

「ヒ、ヒヤアアアアアアアー！」

オークらはにげだした

「あ、ありがとうございます！ お陰で村は救われました、なんとお礼を申してよいやら……」

”……………”

「盛大には出来ないかもしれませんが、どうか礼をさせて下さい。
あなた様は村の救世主でございま……」

”……力が、欲しいか？”

「え……？」

“この村の救世主となりたくはないか？”

「そ、それは勿論、村長として村を守りたくはありますが……しかし私は見ての通り、腕っぷしにはとんと自信のない老いばれでございます。救世主などとはとても……」

”なれる。力を授けよう……私の目を見ろ“

「は、はぁ」

ビシュウ！

「ぎ、ぎゃあああああああああ！」

翌日……

「た、大変です村長！ 昨日のオークがまた……」

「……」

「そ、村長！？」

「心配無用と村民に伝えろサム……」

そんちようは しゅつげきした

第二節 無敵村長 VS オークのボス アグウ

「コレダケノナカマガイレバ ドンナヤツモイチコロダゼ！」

「コンドコソ ムラノメシヲ クイツクシテヤル！」

「……モチロン、オレガイチバンニクウンダロ？ ナア、オマエ
タチ」

「ソノトウリデス アグウサマ」

「アレ？ ムラノイリグチニ ダレカイルゾ」

スッ……

そんちようが あらわれた

「キノウノ ヨワツチイジジイカ バカナヤツダゼ！」

「グヒヤアアア、クタバレオイボレエエ！」

グシヤア！！

「ピイイイイイイイイイイ！？」

アグウにしよりした

「ア、アグウサマアアア！」

第三爺 無敵村長 VS 村長補佐サム

ドンッ ドンッ！

物音にサムは飛び起きた。昨日、モンスターの襲撃があったばかりで殆どの村民が眠れぬ夜を過ごした。サムもそうであったが、いつの間にやら眠ってしまったらしい。

ドン！ ドン！

「！？」 何の音だ！？」

サムは家を飛び出した。

ドン！ ドン！ との断続的な振動は、辺境の村人に馴染みないものであった。これが首都であれば、他国のが攻めこんで来たやら、花火でも打ち上げているのか？ となるのだが。

どうやら音は村の入口の方からしかった。サムが辿り着いた頃には、既に村人らでごった返している。

「スートラさん、この音は何なんですか！？」

「サムか……見れば分かる」

「ん……？」

そんちょうは　　まるたを　　じめんにつきさしている

ドン！　　ドン！

バキィ！

そんちょうはまるたをたたきわっている

「あ、あれは何をしてるんでしょうか？」

「さあ……あたしには見当もつかねえ。サム、聞いて来ておくれよ、村長補佐なんだろう？」

「……分かりました」

ザクッ！　　ザクッ！

そんちょうは　　みぞをほっている

「あ、あのう村長？　　何をなさってるのですか？」

ドン！　　ドン！

” 決まっている、村の周りに矢倉を築き、堀を引く”

「何の為にです？」

バキィ！

「ぎゃあああああああああああ!?!」

サムにしようとした

” 貴様は昨日の事をもうわすれたかああ!
”

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4335ba/>

無敵村長

2012年1月13日18時59分発行